

日時： 2014 年 2 月 21 日（金）13:00～16:30

会場： 園田学園女子大学 30 周年記念館 3F 大会議室

テーマ：利用者中心の大学図書館

ー原点に立ち返り、利用者を中心に据えた大学図書館のあり方を考えるー

SNS を利用したニーズの掘り起こし方法やそれを利用する際の問題点を整理し、クリアした先に見えてくる「利用者中心の大学図書館」とは

講演 1. 「ソーシャルメディアと図書館」

京都大学農学研究科図書室 西川真樹子氏

【内容概要】

大学図書館での Facebook 運用方法と活用事例ということで、初めに勤務先の農学部図書室で Facebook を導入するに至った経緯の説明をされた。世界の公共図書館や日本の大学図書館、その他、企業の Facebook ページなど、実際の SNS の活用事例を通して、各ページの特徴や運用のコツなどを紹介。

Facebook を運用するにあたっては、運用ポリシーの策定をしていく必要があるが、ガイドラインを定めている館はまだ少数であることを指摘。また、SNS には流行り廃りがあることを踏まえた上で、ユーザーの利便性向上のため、柔軟な SNS の活用方法を考える必要があることを発表の締めくくりとされた。

講演 2. 「現代の大学生とその支援を考える」

大阪市立大学・関西大学等非常勤講師 米谷優子氏

【内容概要】

2009 年以降、大学進学率が 50% を超え、学習意欲のない学生も増えている。授業を通して感じる現代の大学生の現状は、基礎知識の乏しく、考えることをせずなんでも検索エンジンを利用し、ネットで読むことのできるものだけを参照する傾向にあること、などが挙げられる。このような学生を対象とした大学図書館にできる支援の方法としては、まず「ポータル」としてのサービスの充実があげられる。また教育担当者の協力のもとで、「図書館を必要とする機会を増やす」といったニーズの拡大や、学校図書館との連携などが考えられると、結論された。

参加校：33 校

参加人数：49 名